キャラクター名
雪沢 幸星(ゆきざわ　こうせい)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	高校生	カヴァー	ーオオカミ
オプショナル		年齢	16	性別	♂
覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	39 %
出自	朋鳥村（ともどりむら）	経験	母との死別	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	31
行動値	15
(非装備時)	15
戦闘移動	20
全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	5r+2	0	-5		ｴﾌｪｸﾄ:破壊の爪発動時は下記参照
破壊の爪	白兵	5r+2	1	Lv+8		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
携帯電話	
思い出の一品(ﾄｩﾙｰｽｻｲﾄ)	
Kamica	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
鳳月境矢	P　友情	N　不安		
No.11秘密兵器:ﾄｩﾙｰｽｻｲﾄ	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
破壊の爪	1	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	ー	
効果：	素手データを攻撃[lv+8]、ガード[+1]に変更。							
先手必勝	4	ー	常時	至近	自身	自動	ー	
効果：	行動値+lv*3。侵蝕率基本値+4。							
ハンティングスタイル	2	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	ー	
効果：	戦闘移動。1シーンlv回まで。							
獣の力	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	ー	対決	ー	
効果：	攻撃力+lv*2。							
電光石火	3	3	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱ	ー	ー	ー	ー	
効果：	ダイス+[lv+1]個。HPを1d10失う。							
C：キュマイラ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	ー	ー	ー	ー	
効果：	C値-lv。（下限値7）							
セリアンスロープ	1							
効果：	人間、獣人、獣の形態を自由に変化できる。							
鋭敏感覚	1							
効果：	感覚器官を変化。特定動物の能力を一時的に入手。GMは必要に応じて〈知覚〉判定の指示が可能。							
獣の臭い	1							
効果：	動物のエキストラに命令できる。可否はGMの判断に委ねられる。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

※シナリオ開始時、シンドロームは発現(覚醒)していない。そのため、一定の間はシーン登場時の侵蝕率上昇のダイスは振らないことに注意。

朋鳥村出身の小柄な狼のHオーヴァード。生まれつき片耳ボタン耳なのが自分の中で少しコンプレックス。
雪沢家の一人っ子。
6歳の頃に母親が急死（父親から後に事故死とだけ伝えられている。）し、父親との二人生活を送っている。
小さな頃から鳳月家と家族ぐるみで付き合いがあり、境矢とともに育ち兄貴分のように慕っていた。
境矢は、幸星にとって村の中でも数少ない甘えられる(弱みを見せられる)存在であり、母親の死後、父親よりも共にいる時間が長かったためかなりなついていた。村を出ていった境矢に少し寂しさや疎外感を覚えている。

人の信仰にとやかく言うつもりはないが、信心深かった母親が急死してからあまり神という存在を好きになれなくなった。母と毎日神社に祈っていたが、死別後は誰かと行くとき、形だけの祈りしかささげていない。しかし周りの信仰の強さも相まってあまり他言はせず心の内に秘めている。

田舎育ちの箱入り息子なので礼儀はあるが少し常識が抜けているようなそんな感じの青年。バスで最寄りの駅にたどり着いたときに初めて考えが至ったのは「なんか気持ち悪い」という感覚だった。出発駅で東野スイに出会い、電車に揺られながらも神沢市へ辿り着く。

設定？
一人っ子でやや甘えっこ。基本的に敬語でしゃべるが、年齢が近い人や自分が集中している時は割と砕けた喋り方になりがち。
自分の世界に入り込んでしまう癖があり、たまに周りのことが見えなくなる。
初めて村の外へ出て、自分が小さいほうであることを理解して軽くショックを受けている。また、初めての公共交通機関で自分が乗り物に弱いことも知った。